

Create the future

未来を創造する



www.placo.co.jp

中期経営計画

2024年5月10日

株式会社プラコー

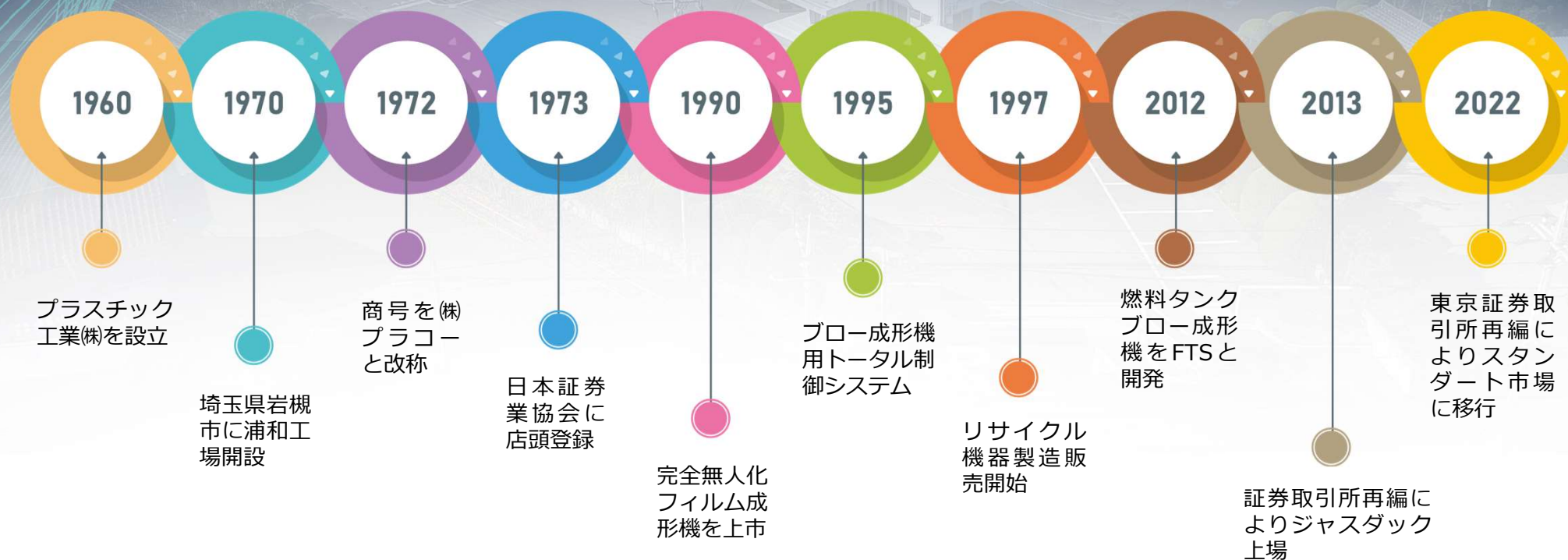
株式会社プラコー

会社概要

- 社名：株式会社プラコー（証券コード 6347）
- 住所：埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田550番地
- 設立：1960年8月17日
- 従業員数：85名
- 代表取締役社長：古野 孝志
- 事業内容：プラスチック成形機等の機械メーカー
- 資本金：7億5千4百万円（2024年3月末現在）
- 売上高：34億4千8百万円（2024年3月期）
- 発行済株式数：941万株
- 単元株数：100株



沿革



01 | 中期経営目標

01

成形機を
中核とし、
成長分野へ
展開



02

事業提携や
M&Aによる
成長



03

時価総額
300億以上



02 | 現在の主力事業



インフレーション成形機、ブロー成形機の国内トップレベルの技術力と実績を元に、プラスチックリサイクル機器製造販売並びに廃プラスチックのリサイクル活用等、環境省及び経済産業省が主導するプラスチック資源循環促進法に沿う事業を展開

インフレーション フィルム成形機

多層インフレーション
成形機



ブロー成形機

DAH（省エネタイプの
ブロー成形機）



03 | 現在の主力事業 その2



リサイクル機器

プラスチック・古紙類・木材等を扱う機器（破碎機、粉碎機、造粒機等）の開発提案、機械設計・製造、設置、移設を提供。県・市区町村の許可や補助金申請の支援



メンテナンス事業

日本全国の顧客工場に訪問しメンテナンスを実施



EXZスクリュー



シリンダー



減速機GL



04| 前回計画(2021年)の反省と修正



コア事業

市場の成熟などにより、成形機事業を伸ばせなかった



リサイクル事業

リサイクル機器を中心として、需要はあるもののコストの大幅な低減が必要



関連事業

非上場企業を中心に多数のM&A候補先はあったものの条件が折り合わず実行に至らなかった



当社がとるべき方針に変更はないものの課題を認識し、より確度の高い施策へ計画の更新を行う

05 | 今後の事業展開



当社の強みに立脚し、成長分野に投資すると共に、大手企業や他業種との提携を進める



06 | 事業提携、M&A

高い技術力や成長性を見込める企業のM&A、大手企業、異業種企業との協業を推進

Point.1

上場企業との緩やかな資本提携の推進

(ニッチな市場で独自の技術を活かす優良な企業と連合体を形成)

Point.2

上場を目指す成長企業、中小企業をグループ化

(上場したいが困難な企業や時間をかけたくない企業等と連携)

Point.3

大手企業との事業・資本提携

(大規模リサイクルプラントの共同運営やEV・AI分野での協業)

07 | 時価総額

本中期経営計画より時価総額を目標とする経営指標を設定いたしました

時価総額
増大を
目指す

企業価値増加の指標を「株式時価総額」に置き、売上と利益を伴う時価総額増大を目指す

時価総額
300億円以上を
目指す

東証プライム市場へ市場変更できるよう、流通株式時価総額 100億円以上、時価総額 300億円以上を目指す

株式市場
重視

株式市場を重視し、株主との対話を進める



08 | 事業別売上計画



単位：億円

事業分野	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
プラスチック成形機事業	インフレーションフィルム成型機	15	16	17	17	17
	ブロー成型機	7	8	8	8	8
リサイクル事業	リサイクル機器	6	10	14	17	20
	資源循環	0	0	10	20	25
他社連携事業	他社連携	0	5	10	20	30
合計		28	39	59	82	100

09 | 全社収益



項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
売上	28	39.0	59.0	82.0	100.0
製造原価	20	27.3	41.3	57.4	70.0
粗利	8	11.7	17.7	24.6	30.0
販管費	6	8.0	10.0	12.0	14.0
営業利益	2.0	3.7	7.7	12.6	16.0
当期利益	1.3	2.4	5.0	8.2	10.4
1株利益	15	27	57	93	119

10 | 当社の成長イメージ

企業価値の向上
時価総額300億

3.新規領域
—EV、AI事業等との提携
—M&A

新規領域へ挑戦

2.プラリサイクルビジネス
大手企業・地方自治体と資源循環への取り組み

成長への
投資分野を加速

1.既存主力事業・リサイクル機器の開発
投資継続

当社の事業基盤を
より強固に

2024 2025 2026 2027 2028

11 CSR 企業活動を行うに際しての社会的責任

ESGへの取り組み

項目	内 容	プラコーでの取組
Environment (環境)	◆ 再生可能エネルギー使用 ◆ CO₂の排 出削減 ◆ 製造工程での廃棄物低減	◆ プラスチック成形機メーカーの責任として、プラスチック製品や工場内廃プラを回収しリサイクルへ
Social (社会)	◆ サプライヤーの人権問題配慮 ◆ ダイバーシティやワークライフバランス ◆ 個人情報保護・管理	◆ 上場企業としての社会的責任 ◆ コーポレート・ガバナンスコードのコンプライアンス
Governance (統治)	◆ 積極的な情報開示 ◆ 取締役会の多様化 ◆ 資本効率への高い意識	◆ 開かれた経営 ◆ 収益向上とガバナンスの共立経営

ESG

*投資家主導の
サステナビリティ全般

SDGs



SDGs :持続可能な開発目標

具体例	プラコーでの取り組み	
◆ CO₂削減、カーボンニュートラル	◆ プラスチックを燃やさない ◆ リサイクルによる再利用	13 気候変動に具体的な対策を
◆ 資源の保護・回復 ◆ 持続可能な利用	◆ 地方自治体が行う容器包装プラスチック及びプラスチック一括回収への取り組み ◆ 製造事業者かつ多量排出事業者が行う廃プラスチックのリユース及びリサイクルへの取り組み	9 産業と雇用・成長を強く 12 持続可能な消費と生産
◆ 海洋保全	◆ 漁網・プラスチックボトル等の海洋投棄の削減と資源回収リサイクル	14 海の豊かさを守ろう
◆ 持続可能な開発の実施手段 ◆ グローバル・パートナーシップ	◆ プラスチックリサイクル機械メーカー とリサイクルオペレーションとの協業	17 パートナーシップを世界に

- ◆ 地域、社会、環境などへの配慮と社会貢献等への適切な実行
- ◆ お客様、取引先様、金融機関との関係改善・強化
- ◆ 従業員満足度向上
- ◆ 株主・投資家様の満足度向上

Create the future

End of File

未来を創造する



株式会社プラコー

www.placo.co.jp

